

朗報!

全ての海外在留邦人の方々へ

外務省支援による

コロナに関する最新情報と 免疫力を高めるための 講演会シリーズ

主催/共催:

竹の会 - Takenokai
c/o zentrumplus Oberkassel
Gemünderstr. 5, 40547 Düsseldorf

デュッセルドルフ日本クラブ
Oststraße 34A, 40211 Düsseldorf

新型コロナウィルスは世界中の人々の生活を脅かしています。コロナ感染拡大に伴い生活に支障をきたしている海外在留邦人のための日本外務省支援を受け、デュッセルドルフ所在竹の会/日本クラブは「コロナ禍の健康」をテーマに講師の方々をお招きし、講演会シリーズを開催いたします。コロナ感染防止は「コロナに関する最新情報と

免疫力を高める」ことから。各分野の方々から興味あるお話しをしていただきます。

参加対象者は、全ての海外に在留する皆様です。

参加ご希望の方は、8月24日までに下記メールアドレス宛にお名前とメールアドレスをご連絡ください。参加費は無料です。
info@takenokai.de でお申し込みください。

申し込みされた方に事前に ZOOM 参加用のリンクを送付いたします。



講演内容:

2021年8月28日(土)

①15-16時、講師:ホーネカムプ・山本有
講演テーマ:「変わり続けていくことを変わらずに:
動的平衡とマインドフルネス理論からストレスへの
こころの対処について考える」

②16-17時、講師:吉田恵子
講演テーマ:コロナ感染症とワクチンについての講演。

2021年9月4日(土)

①15-15:45

講師:松尾幸香

講演テーマ:コロナに負けない身体を作ろう!ーストレッチと体操

②15:45-16:45(15分質疑応答含む)、

講師:馬場恒春

講演テーマ:コロナ禍とドイツに暮らす私たちの健康

③16:45-17:45(15分質疑応答を含む)、

講師:太田まり

講師プロフィール



ホーネカムプ山本有

履歴: デュースブルグ市在住。ドイツヘッセン州ギーセン大学心理学部修了。在学時以来、各地でホスピスや緩和ケア病棟にてターミナルケアと遺族ケアにたずさわる。2006 年心理カウンセリングルーム開設。デュースブルグ市内のホスピスでは遺族外来を担当、現在は同ホスピスで遺族ケアにあたるボランティアスタッフのコンサルティングに従事。2007 年より 2020 年まで、デュースブルグ-エッセン大学において遺族カウンセラーの養成講座の講師をつとめる。2019 年にドイツ在住日本人として初のドイツ国家公認精神分析家の資格を取得。NRW 州の保険医組合にて健康保険適用と開業資格の取得。以来、デュースブルグ市内の診療所にて治療にたずさわる。主な専門は精神療法（精神分析、分析的心理療法、トラウマ治療、誘導覚醒夢法など）、ターミナルケア（終末期患者とその家族への心のケア）及び遺族ケア。JAMSNET ドイツ所属。



吉田恵子

履歴: 博士(医療政策)・修士(社会科学)。主にドイツで、独日通訳と医療・介護制度の調査やそのコーディネーションを行う。定期的にデュッセルドルフ日本商工会議所会報や医療・介護関連専門誌でドイツの医療・介護・社会制度についての記事執筆、また最近はオンラインセミナーも行っている。日本では東京医科歯科大学非常勤講師、国際長寿センター研究員としても活動する。



松尾幸香

8 才より藤原めい子バレエ教室でバレエを始め、高校卒業後にロンドンの LSC へ留学。卒業公演では主役に抜擢され卒業後にプロになる。日本では熊川哲也率いる K-Ballet に所属し、ドイツでは現在ウィーン国立劇場の芸術監督になったマーティン・シュレプファーの元でマインツ劇場のソリストとして入団。彼がデュッセルドルフ劇場へ移動の時に共にソリストとして移り様々な作品を踊り活躍する。引退後は一児の母になり現在はフリーの講師として活躍中。



太田まり

1963 年生まれ。父の転勤により三重県、神奈川県で育つ。「婦人之友」読者だった祖母の影響で幼少期より食への興味を持つ。1983 年女子栄養大学短期大学部食物栄養学科卒業。常に食への興味を持ち続け、食に関する職業に就く。結婚後 1988 年 12 月渡独。出産、子育てを経て、54 歳でドイツ介護士専門職資格を取得。現在、聖アウグスティヌス・グループ ヨハネス・フォン・ゴットハウス（老人介護施設）勤務。ノイス市在住。

現在興味のある事は、腸活を含む免疫力を高める食事。痴呆症患者における食事はどうあるべきか。



馬場恒春

学歴

1952 年 宮城県仙台市生まれ。
1971 年 米国カリフォルニア州エルカホン高校(文部省による AFS 交換留学)
1972 年 (帰国後)宮城県仙台第 1 高等学校卒
1972 - 1978 年 弘前大学医学部

主な職歴

1978 年 弘前大学付属病院
1988 年 デュッセルドルフ大学医学部代謝内科(フンボルト財団研究員) 1989 年 弘前大学医学部(講師)
1992 年 国立国際医療センター臨床研究所(流動研究員)
1994 年 リューベック大学(フンボルト財団研究員)
1994 年 北里大学医学部(内分泌内科、講師)
2000 年 福島県立医科大学(第3内科、講師、助教授)
2003 年 フォークス臨床開発研究所(ノイス市)
2010 年~ ノイゲバウア馬場 内科クリニックにて邦人診療に従事(現職)
1992 年~2001 年 東京大学医学部非常勤講師(第1内科、黒川清教授)
2000 年~2002 年 東海大学医学部非常勤講師(東京病院、黒川清医学部長)